

先輩特派員に聞く！

# 「伝える言葉の大切さ」



鎌屋 郁子さん  
平成 13～16年活動

転居し、町のことを知りた  
いと思っていたときに特派員の募  
集を見つけ、応募しました。  
紙面づくりは、「どうすれば  
読みやすく伝わるんだろう」と  
かなり悩んだのを思い出しま  
す。特に印象深いのは、柏原の棚田で農業体験を  
させていただいたときです。農家さんの大変さや  
喜び、そして試食にいただいたおにぎりは、おい  
しくて今でも忘れられません。この特派員の経  
験を活かし、今は情報教育指導補助員として教育  
支援に携わっています。子どもたちにも常にわか  
りやすい言葉で伝えることを心掛けています。

ずっと特派員報告のファ  
ンで、いつか特派員をやっ  
てみたいと思っていました。



中道 かおりさん  
平成 28～30年活動

実際にやってみると、様々  
な場所に行ってきた皆さんの人  
との出会いがありました。そ  
して楽しいテーマだけではなく、「行政相談」「上  
下水道」「福祉」「救命」など、構成が特に難し  
かったものもあり、いかに読者の方にわかりやす  
く伝えるか、自分自身学ぶことが多かったです。  
現在は、企画政策課でふるさと納税のお仕  
事をさせていただいて、今でも当時お世  
話になった人とつながっています。



中川 弓子

# いながわ 特派員報告



三木 ゆかり

まちの魅力をお届け！

特派員報告の

# 歴史



今年の12月号で「1,000号」を迎える広報いながわ。  
昭和31年から発行されているって知っていましたか？  
その中には私たち住民が誌面を担当する特派員報告も  
あり、先輩方からバトンをつないでいます。  
今回は、その「特派員報告」の歴史を探ってみました！  
▶問合せ 広報戦略室 ☎766-8707

## 特派員さんは町の応援団



企画政策課  
広報戦略室  
宮田 ゆみ室長

をモットーに、行政と住民の  
皆さんをつなげ、そのつな  
がりを広げて、まちづくりを  
かしていくことを目指して  
います。行政情報のほか、ま  
ちの皆さんの活動の様子や笑  
あふれる写真を掲載すること  
で、親しみある、あたたかい

広報の作成を心がけています。  
中でも、特派員報告は私  
ち職員とは違う、住民さんの  
視点で特派員が感じたこと  
記事にするので「特に読み  
やすい」と、広報いながわの  
人気コーナーになっています。  
多くの特派員経験者は、「猪  
名川町ファン」になり、様  
々な立場で猪名川町を支えて  
くださる心強い応援団です。  
今後も、たくさんの方々に特  
派員のバトンが繋がって欲  
しいと思っています。



もうすぐ  
1000号！

過去の広報いながわは町  
ホームページや町立図書  
館で見ることができ  
るよ！詳細は町  
ホームページを  
チェック！



## 広報いながわ 特派員報告について

「広報いながわ」は昭和31年4  
月に第1号が発行され、そのコ  
ーナーのひとつとして、平成7年9  
月15日569号から「特派員報  
告」がスタートしました。  
広報づくり素人の私たち特派員  
ですが、企画の段階から広報担  
当者に相談に乗ってもらい、取  
材で感じたことなどを記事にし  
ていきます。時には、「言葉ひとつ  
で伝わりやすさが変わる」とか「写  
真を撮る側が緊張しているのは、良  
い表情が撮れないよ」など、様々  
なアドバイスをいただいています。そ  
して、少しずつ仕上げていきなが  
ら、工夫して素敵な写真が撮れた  
り、発行された誌面が喜んでもら  
えると、とてもうれしく、励み  
になります。

## 26年の歴史を繋いで

26年間続いている特派員報告。  
22名の先輩方が、様々な思いで町  
角でのインタビューや伝統的なイ  
ベントの裏側取材したりと、た  
くさんの魅力をお伝えしてしま  
した。今回は、先輩特派員さんに  
当時の思い出や活動を通じての想  
いなどをうかがってきました。

## 編集後記

懐かしい写真やくすっと笑え  
る当時の記録まで見られる広報  
誌は町の歴史を記録しているん  
だなあと改めて実感しました。  
住民目線で皆さんと一緒に楽し  
んで町のことを発信できるよう、  
より一層頑張ります！

